

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和 5 年度第 1 回運営委員会 議事次第

議題

- | | |
|--------------------------------|----|
| 1. 令和 4 年度事業報告（案）について（資料 1） | P1 |
| 2. 令和 4 年度収支決算報告（案）について（資料 2） | P5 |
| 3. 私立大学等改革総合支援事業への対応について（資料 3） | P8 |

報告

- | | |
|---|-----|
| 1. 令和 5 年度事業の実施状況について（資料 4） | P12 |
| 2. 大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料 5） | P16 |
| 3. 名義使用の許諾について（資料 6） | P17 |

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和5年度第1回運営員会（書面審議）に係る議案説明および報告

議題事項

1. 令和4年度事業報告（案）について（資料1）

令和4年度実施事業及び取組項目は資料1のとおりである。進学・教育部会で9事業、就職・産業振興部会で6事業、地域活性化部会で2事業を実施し、部会共通事業として2事業を実施した。本案についてご審議いただきたい。

2. 令和4年度収支決算報告（案）について（資料2）

令和4年度収支決算は資料2のとおりである。収入の部は、35機関からの会費収入8,100,000円と預金利息40円の合計で8,100,040円であった。支出の部については、事業費と事務費に大別したうえで、事業費はさらに、共通事業費と部会事業費に区分した。共通事業費については、ホームページ作成に係る費用として1,595,000円、部会事業費については、キャンパスガイド作成、出前講座等一覧郵送、公開授業参観チラシ印刷、キャリア支援研究会講師謝金、学生向け就職活動webアンケート謝礼として1,114,582円。事務費については、事務局運営費として、各部会の運営費、事務局専任職員の人件費、印刷費、通信費などとして4,150,663円であり、支出の部の合計は6,860,245円であった。次年度繰越額は、1,239,795円である。

なお、監事の香川県商工会議所連合会及び高松市による会計監査を受け、適切に処理されていることが認められている。本案についてご審議いただきたい。

3. 私立大学等改革総合支援事業への対応について（資料3）

私立大学等改革総合支援事業とは、私立大学・短大等に係る文部科学省の補助事業であり、「Society5.0」の実現に向けた未来を支える人材を育む特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援するものである。本補助事業には、「『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開」（タイプ1）、「特色ある高度な研究の展開」（タイプ2）、「地域社会の発展への貢献」（タイプ3）、「社会実装の推進」（タイプ4）の4タイプが用意されている。

これまでは、地域社会への貢献にプラットフォーム型で取り組む「タイプ3」を活用した大学改革に係る取組みを、「旧大学コンソーシアム香川」の枠組みの中で実施しており、平成30年度に初めて当該事業に申請し、令和2年度には事業に採択された。令和3年度、令和4年度については、連携体制や事業の評価体制が申請条件を満たすものではなかったため、申請を断念した。

令和4年度第1回運営委員会及び総会において、「旧大学コンソーシアム香川」の中長期計画（計画期間：2019年～2023年）の暫定的な使用についてご承認いただいたところであるが、事業の評価体制については、事業に関係する部会が作成した評価を3部会の部会長が3部会合同連絡会において承認することを承認願いたい。本案についてご審議いただきたい。

報告事項

1. 令和5年度の事業実施状況について（資料4）

令和5年3月29日に開催された総会においてご承認いただいた令和5年度事業計画の実施状況は資料4のとおりである。

2. 大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料5）

大学・地域共創プラットフォーム香川 産学官共創チャレンジ支援補助金について、資料5のとおり7月12日に10事業を交付決定した。

3. 名義使用の許諾について（資料6）

《概要》

後援及び共催名義の使用について、6件の申請があり、許諾を行った。内容については資料6のとおりである。

以上

令和4年度事業実施報告(案)

1. 高大連携による県内高校からの進学推進事業（進学・教育部会）

取 組	実施概要
① 出前講座	実施件数:96 件(3/31 現在) 出前講座名などの情報を県内高校へ郵送して周知した。また、小・中学校からの要望もあり講師を派遣した。
② 合同進学説明会	令和 4 年度は 3 校(香川中央高校、小豆島中央高校及び高松東高校)で実施し、高松東高校では OBOG の現役大学生 8 名が対面や動画出演で県内大学の PR 役として参加した。
③ 公開授業参観	・「アニメ・マンガ論」四国学院大学(10/10) 8名参加 ・「臨床医学各論演習A」徳島文理大学(10/22) 3名参加 ・「English Expression IV」徳島文理大学(11/19)1名参加 ・「観光振興・地域創生論」せとうち観光専門職短期大学(12/13) 参加者なし
④ その他の広報活動	(キャンパスガイドの作成・配布) 昨年度版を一部時点更新し、県内の高校2年生全員及び県内高校・中学校の各教室用に作成(11,000部、県内高校43校、中学校71校等へ送付)し、校長会等で積極的な活用を依頼。 (オープンキャンパスの周知) 県内高校に県内大学等のオープンキャンパス日程一覧を送付し、高校教員の参加について案内。

2. 県内大学等在学生の地域理解・定着意欲喚起事業（進学・教育部会）

取 組	実施概要
① 単位互換	講座数 469 受講者数 16人(延べ18人)
② 地域志向科目の情報共有	4月に情報共有を行った。地域志向科目を活用するため、次年度は可能な範囲で単位互換科目に含めることとした。
③ 地域理解フィールド実習(集中)の共同開催	小豆島一帯においてフィールドワークおよびアイデア創出ワークを実施した。(10/28～10/30) 参加学生4名
④ FD・SD活動	危機管理シンポジウムを開催した。 (10/31、香川大学主催、PF香川共催) 参加者数 232名
⑤ 国際交流	香川大学グローバルカフェでの開催イベントに他大学等の留学生が参加する計画であったが、平日開催のため今年度は参加できなかった。

3. 卒業者の地域就職推進に向けたキャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	実施概要
① インターンシップ	香川経済同友会の会員を対象に受入企業を募集し、応募のあった5社の概要について、大学・地域共創プラットフォーム香川事務局に情報提供を行った。
② かがわーくフェア	【参加者】 令和4年6月開催 対面 延211人/オンライン 延70人 令和4年8月開催 対面 延111人/オンライン 延28人 令和5年3月開催 対面 延180人 大学・短期大学・高等専門学校・専修学校などの卒業予定者(既卒者含む)及び一般採用希望者(就職氷河期世代を含む)を対象とした、対面方式による「就職面接会」及びオンライン形式による「個別面接」を開催。
③ 業種別オンライン県内企業見学ツアー	【参加者】(全て web 参加者) 8月24日(水) 64人 8月31日(水) 54人 9月 7日(水) 69人 延べ学生参加者数が昨年の150人から187人へと増加した。学生アンケートの結果、当ツアーへの評価は「満足」と「やや満足」の合計で9割を超えた。「短時間で様々な企業の情報を得ることができてよかった」などの感想が多数寄せられている。今後の課題として、 1.学生参加者の確保 2.参加各企業の持ち時間(現在15分間)の検討 3.コース内容の検討 などが挙げられる。
④ うどん県の自治体で働こう大懇談会	【参加者】 9月28日(水) 延54人 学生アンケートの結果、評価は「満足」が9割と高い満足度が確認できた。「一度に多くの自治体の話を聞けてよかった」「調べるだけではわからない情報を得ることができた」などの感想が多数寄せられている。今後の課題として、参加学生の確保、参加希望者が増えた場合の開催方法などが挙げられる。
⑤ キャリア支援研修会	【参加者】 10月8日(土)19人(内訳:香川大学8人、香川短期大学8人、徳島文理大学2人、高松大学1人) 元ハローワーク丸亀所長を講師として、就職活動の始め方等の説明、自己分析による就職適性検査を実施
⑥ 公務員・国立大学法人等職員説明会	【参加者】 2月15日(水) 対面 延 116 人/オンライン 延 321 人 2月16日(木) 対面 延 106 人/オンライン 延 289 人 2 日間で計 18 機関が発表し、延べ 832 名の学生が参加した。学生アンケートの結果、本説明会への評価は回答者全員が「大変参考

	になった」「参考になった」と回答した。「職務内容だけではなく各機関が抱えている課題まで知ることができ理解が深まった」「ネットの記事やパンフレットでは知れない、現場の人からのリアルな話を聞いた」「いろいろな機関の話を一度に聞け、参考になった」など好評の声が多数寄せられた。
--	--

4. 地域活性化に係る事業策定のための提案収集事業（地域活性化部会）

取 組	実施概要
① アイデアソンの実施等	・地域課題へのアプローチとして、大学生や企業経営者、地域おこし協力隊など産学官の関係者が集まり、夏に計2回、「若者の定着する香川を目指して」をテーマに、対話を通じてアイデアを出し合うアイデアソンを実施した。 ・企業PR、学生企画ツアー、関係案内所などの様々なアイデアを参考として、テーマに沿ってWGを設け、取組みを進めている。
② 産学官連携による実践	(学生おすすめの観光情報発信) ・観光WGの取組みとして、大学生や若い自治体職員等が集まり、香川のおすすめ観光ポイントを出し合うグループワークを開催した。 ・第1段として、大学生が特定の地域で体験取材し、SNSを活用した若者目線の県内観光情報の発信を行った。 (学生目線による県内中小企業の課題解決) ・デジタルを活用した学生目線による課題解決を目指し、大学生らがモデル企業を訪問し、現在の課題等のヒアリングを実施した。 (関係人口等に関する勉強会) ・県内の優良事例から地域活動のポイント等を学ぶ勉強会等を開催した。(地域外の人材の受け皿となっている、東かがわ市五名地域で実施) (学生対象アンケート調査)【全部会共通】 ・就職先選定時における学生の思考・行動や、就職時の若者の転出超過の要因について検討し、今後の取組みにつなげていくため、県内大学等と県が就職支援協定を結ぶ県外大学の学生(就職活動を終えた4年生等)に対し、アンケート調査を実施した。

5. 情報共有及び外部への情報発信のためのデジタル環境の整備事業（共通）

取 組	実施概要
① 情報共有ツール導入	全構成団体、延べ158名を利用者登録 11月28日及び30日に構成員向け使用説明会を実施のうえ、運営委員会チームフォルダに当該説明会の動画を保存 5月27日の第1回就職・産業振興部会をはじめ、各部会・ワークショップ等のオンライン会議に活用 また、各会議(総会、運営委員会、3部会)の令和4年度資料を各チームフォルダに保存し共有

② ホームページ作成	プラットフォームの目的・組織体制をはじめ、各部会が実施するイベントなどの主催事業の他、共催・後援事業や話題等を中心に情報発信 会員専用ページを設け、各種会議資料の閲覧やプラットフォーム事務局への照会フォームを活用することが可能。令和5年3月運用開始。
-------------------	--

大学・地域共創プラットフォーム香川 令和4年度収支決算書（案）

（単位：円）

項目	予算額	決算	比較増減	内容
【収入の部】				
会費(35機関)	8,100,000	8,100,000	0	(内訳) 県内大学等(7) 3,150千円 経済団体等(8) 800千円 市町(17) 850千円 香川県 3,300千円 ※高松大学及び高松短期大学は一法人として負担 ※香川県立保健医療大学は香川県負担分に含む
預金利息	0	40	40	
収入計	8,100,000	8,100,040	40	

項目	予算額	決算	比較増減	内容
【支出の部】				
事業費				
共通事業費	1,800,000	1,595,000	▲ 205,000	ホームページ制作、ホームページサーバ契約
部会事業費	1,800,000	1,114,582	▲ 685,418	キャンパスガイド作成、出前講座等一覧郵送、公開授業参観チラシ印刷、キャリア支援研修会講師謝金、学生向け就職活動webアンケート謝礼
事務費				
事務局運営費	4,500,000	4,150,663	▲ 349,337	人件費、印刷費、通信費等の事務経費
次年度繰越	0	1,239,795	1,239,795	
支出計	8,100,000	8,100,040	40	

監 査 報 告 書

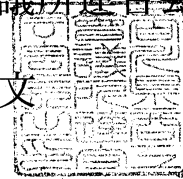
大学・地域共創プラットフォーム香川の令和4年度における会計について、帳簿及び関係書類により監査を行ったところ、その執行は正確に処理されているものと認めますので、報告します。

令和5年 6 月 23 日

大学・地域共創プラットフォーム香川

監事 香川県商工会議所連合会

会長 泉 雅文



監 査 報 告 書

大学・地域共創プラットフォーム香川の令和4年度における会計について、帳簿及び関係書類により監査を行ったところ、その執行は正確に処理されているものと認めますので、報告します。

令和5年 6月 29日

大学・地域共創プラットフォーム香川

監事 高松市

市長 大西 秀人



私立大学等改革総合支援事業への対応について

【趣旨】

「Society5.0」の実現に向けた特色ある教育研究の推進や高度研究を実現する体制・環境の構築、地域社会への貢献、社会課題を解決する研究開発・社会実装の推進など、自らの特色・強みや役割の明確化・伸長に向けた改革に全学的・組織的に取り組む大学等を重点的に支援する、私立大学・短大等を対象とする文部科学省の補助事業。

各大学における取り組みに応じた申請ができるよう、4タイプが用意されている。

【タイプ3「地域社会の発展への貢献」プラットフォーム型】

上記の補助事業4タイプのうちの1つ。

大学間、自治体・産業界等との連携を進めるためのプラットフォーム形成を通じた、地域と大学等双方の発展に向けた取組を支援するもの。

【実績】 ※平成30年度から「大学コンソーシアム香川」をプラットフォームとして活用

(H30)不選定 (R1)不選定 (R2)選定 (R3)不申請 (R4)不申請

出所: 大学・地域共創プラットフォーム香川中長期計画(旧大学コンソーシアム香川の中長期計画を暫定使用)

5 中長期計画ロードマップ(2019年度～2023年度)

課 題	取組内容	達成目標・指標	2018 実績	2019	2020	2021	2022	2023
初等中等教育 機関との連携	出前講座等	出前講座等の講座名や内容を年度初めに情報公開し、活用について積極的に働きかける。 2023年度に150件をめざす。	122件	実施 130件	135件	140件	145件	150件 検証・改善
	合同進学説明会	共同で高校に出向いて進学説明会を実施する。 2023年度に7校での実施をめざす。	3校	実施・推進 4校	4校	5校	6校	検証・改善 7校
	公開授業参観日	中・高校生等の知的好奇心醸成のため、公開授業参観日を実施する。2023年度に2回(土・日曜日)をめざす。	—	検討・調整	実施 1回	1回	2回	2回 検証・改善
地域の文化・芸術・教育等の振興	公開講座	生涯学習の観点から、大学等の知的財産を地域の人々に提供する。 年1回共同開催し、内容の充実も図る。	個別開催合計 152件	内容の検討	実施 1回	1回	1回	1回 検証・改善
	自治体への情報提供	県内自治体が企画・開催する行事への積極的参加・支援を行う。自治体に対して毎年継続的に働きかける。	1回 (文書送付等)	実施				検証・改善
	大学発香川県ガイドの作成	大学等の知的財産を活用して、香川県の魅力を伝える。 1校当たり2～3件の執筆依頼、約200ページのガイド本を作成する。	—	内容の検討	作成	発刊		検証
産業界との連携	キャリア支援	県や経済団体と連携して、就職を支援する。 年2～3回開催する。 学生の参加者数を増やす。	かがわーくフェア 3回 536人	かがわーくフェア 検討・調整 550人	実施 560人	570人	580人	590人 検証・改善

課 題	取組内容	達成目標・指標	2018 実績	2019	2020	2021	2022	2023	
大学等の連携強化	単位互換	学生のニーズに合った科目を開講し、受講人数を増やす。 2023年度に講座数750、受講者20人をめざす。	560講座 3人	内容の検討 707講座 4人	実施	720講座 6人	730講座 10人	740講座 15人	検証・改善 750講座 20人
	FD・SD活動	FD・SD活動を共同開催する。2023年度に共同開催5回、受講者140人をめざす。	個別開催合計 43 回 1, 588人	内容の検討	実施 2回 50人	3回 80人	4回1 10人	検証・改善 5回 140人	
	リスクマネジメントへの取組	リスクマネジメントへの取組みを検討する。 2020年度以降、研究会・協議会等の開催2回をめざす。	個別開催合計 6回	内容の検討	実施 2回	2回	2回	検証・改善 2回	
	国際交流	国際交流活動を共同開催する。 2023年度に共同開催3回、参加者70人をめざす。	個別開催合計 25 回 1, 810人	内容の検討	実施 1回 20人	1回 30人	1回 40人	検証・改善 2回 70人	
	その他の広報活動	・「大学・地域共創プラットフォーム香川」や大学等のホームページ、メディア等を活用して広報活動を積極的に行う。 ・オープンキャンパスの共同広告を年1回掲載する。 ・パンフレットスタンド設置を推進する。 ・「大学・地域共創プラットフォーム香川キャンパスガイド」を作成する。 ・「大学・地域共創プラットフォーム香川」のホームページの内容を充実する。 ・広報活動を通じて、県内大学等への進学増加や若者の県内定着に繋げる。	共同広告 1 回 自県大学進学者の割合 17. 5% 県内大学卒業生の県内就職率 42. 3%	実施・推進 キャンパスガイド発刊	自県大学進学者の割合 目 標 21% 県内大学卒業生の県内就職率 目 標52%			検証・改善	

大学・地域共創プラットフォーム香川 2022 年度中長期計画達成状況評価表

3部会合同連絡会
令和5年9月8日

取組内容	2022 年度計画	2022 年度実施内容	自己評価
1 高大連携による県内高校からの進学推進 ①高校生等を対象に大学等の教職員が出前講座を実施 ②高校の「総合的な探究の時間」に大学等の教職員を派遣して指導・助言を実施 ③大学等が共同で高校に出向いて進学説明会を実施 ④中・高校生等を対象に大学等の公開授業参観を実施 ⑤学生募集のための広報活動の実施 オープンキャンパスの共同広告、キャンパスガイドの作成・配布、プラットフォームホームページの作成	①出前講座の情報発信と実施 145 件 ②高校の「総合的な探究の時間」で大学等の教職員が指導・助言 ③合同進学説明会の実施 6 校 ④公開授業参観の実施 2 回 ⑤オープンキャンパスの共同広告、キャンパスガイド作成・配布、プラットフォームの新ホームページ作成	①出前講座を実施した。96 件 ②県立高校 1 校に、5 大学 2 短大から教員を派遣した。 ③進学説明会を実施した。3 校 高校の OB・OG の現役大学生が県内大学等の PR 役として参加した。 ④公開授業参観を 3 回(3 校、3 講座)で実施した。 ⑤県内高校 40 校にオープンキャンパス日程一覧を送付、教員の参加を要請した。キャンパスガイドを作成、県内高校 2 年生全員及び教室用として高校 43 校、中学校 71 校等へ送付し、校長会等で積極的な活用を依頼した。 新ホームページは 3 月から公開を始めた。	・出前講座、総合的な探究の時間については、高校等への周知方法を検討するとともに、受講者(学校)へのアンケート調査によるニーズ把握等を通じて、改善に努めたい。 ・キャンパスガイドをデジタル化するなど、各取り組みの充実を通じて初等中等教育のさらなる支援を行うとともに、県内大学等への進学促進を図りたい。 【評価】 B
2 県内大学等在学生の地域理解・定着意欲喚起 ①単位互換科目として学生のニーズに合った科目を開設 ②地域理解、地域連携、キャリア形成に関する科目の情報共有 ③フィールドワークおよびアイデア創出ワークの実施 ④教職員研修としてFD・SD活動の共同開催 ⑤リスクマネジメントに関する研究会・協議会等の開催 ⑥各大学等の外国人学生の交流の場を設定	①単位互換科目の共同開設 730 講座 受講者数 10 人 ②地域理解等に関する科目の情報共有 ③フィールドワーク等の実施 ④FD・SD活動の共同開催 3 回 ⑤リスクマネジメントに関する研究会の開催 2 回 ⑥外国人学生の交流の実施	①単位互換科目を 469 講座開設した。受講者数 16 人(延 18 人) ②4 月に情報共有を行った。 ③小豆島一帯においてフィールドワークおよびアイデア創出ワークを実施した。(10/28~10/30) 参加学生 4 人 ④危機管理シンポジウムを FD・SD 活動の一環として、PF に情報共有した。 ⑤危機管理シンポジウムを開催した。(10/31、香川大学主催、PF 香川共催) 参加者数 232 人 ⑥香川大学グローバルカフェでイベントを実施した。	・学生の科目履修や共同活動は、地理的・時間的制約、学生の動機付けなどが課題である。 ・教職員の研修は、適切なニーズ把握、開催方法の検討が必要である。 ・県内大学等がさらに連携して、在学生の地域理解や定着意欲に繋がるよう努めることが大切である。 【評価】 B
3 卒業生の地域就職に向けたキャリア支援事業 ①就職支援を目的とした就職面接会及び個別面談会の開催 ②業種別の複数社によるオンラインでの企業説明会の開催 ③県内自治体等の担当者やOB・OGと県内大学生が一堂に集まる大懇談会の開催 ④就職活動の始め方や企業研究の方法を説明する研修会の開催 ⑤インターンシップを受け入れる県内企業の募集と参加学生の調整 ⑥県内自治体、官公庁、国立大学法人等の就職説明会の開催	①就職面接会及び個別面談会の開催 3 回 ②オンラインでの企業説明会の開催 3 回 ③大懇談会の開催 1 回 ④研修会の開催 1 回 ⑤企業の募集、参加学生の調整 1 回 ⑥就職説明会の開催 2 回	①6 月、8 月、3 月に開催 参加者数 (対面)延 502 人 (オンライン)延 98 人 ②8 月 2 回、9 月 1 回 参加者数 187 人 ③9 月に開催 参加者数 54 人 ④10 月に開催 参加者数 19 人 ⑤4 月に企業募集 5 社 インターンシップ参加者 0 名 ⑥2 月に 2 回開催 参加者数 (対面)延 222 人 (オンライン)延 610 人	・予定通りに開催できた取組みは、参加学生の満足度は非常に高かった。 ・参加学生の確保が一番の課題であり、各大学等での周知徹底及び実施内容の充実、改善に努めたい。 【評価】 B

【評価】

- S: 当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。
 A: 当初の計画を着実に実行できており、目標に対し十分な成果が期待できる。
 B: 当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる。
 C: 当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。
 D: 当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

令和5年度事業の実施状況

1. 共創推進強化事業（共通）

取 組	種 別	内 容	実施状況
① 地域共創タウンミーティングの開催	新規	県内各自治体における、大学等と現地ステークホルダーとの意見交換等	9月開催に向け関係自治体等と調整中
② メタバース等を活用した地域DXの実証	新規	メタバース等を活用した就職・産業振興、進学・教育、地域活性化等に係る地域DXの取組みの実証	県内大学等の学生を対象とする「メタバースを活用したオンライン県内企業見学ツアー」を8月29日に開催 県内大学生48名が参加
③ プラットフォームの枠組みを活用した新規実証事業	新規	PFの枠組みを活用し、構成員が企画・提案、実証・実践する若者の県内定着や地域課題解決に資する取組み	PF構成員から提案された10事業を大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金の対象に決定

2. 高大連携・進学推進事業（進学・教育部会）

取 組	種 別	内 容	実施状況
① 出前講座・体験講座等への講師派遣	継続	高校生等を対象に、大学等の教職員がそれぞれの専門分野を活かした出前講座・体験講座の提供を拡充・強化	出前講座：県内大学等の出前講座一覧を6月に県内高校に配布し、出前講座を実施 体験講座：「香川わくわく子ども大学」11講座を開催 高松大学(8/5) 徳島文理大学(7/22、7/29、8/19、8/27) 香川短期大学(8/11、9/30、11/25)

② 県内大学等合同進学説明会開催	継続	県内大学等への理解を深めるため、合同の進学説明会を県内高校に出向き、県内大学から県内就職した卒業生を加えて実施	県内高校4校で実施 香川中央高校(6/16) 小豆島中央高校(7/20) 高松中央高校(7/3) 高松東高校(9/27) 高松中央高校・小豆島中央高校については、県内大学から県内就職した卒業生が参加
③ 合同大学説明会・交流会開催	新規	高校教員を対象に県内大学等が合同で説明会・交流会を実施	ニーズ調査や実施方法等を検討し、年度内の試行的実施を目指す
④ 高大連携キャリアデザイン研修	新規	県高等学校PTA連合会との連携による保護者対象の研修(合同説明会、大学等訪問受入)、機関紙やHPへの寄稿など	大学等合同説明会を12月9日に開催予定 機関紙「高P連だより」に県内大学等の紹介記事を掲載(10月、3月)
⑤ 探究型学習支援プロジェクトへの講師派遣	継続	高校の「総合的な探究の時間」の活動への助言・指導等に大学等教員を派遣	高松北高校(11/24)
⑥ デジタルキャンパスガイドの作成・公開	継続	大学ガイドをデジタル対応に刷新するとともに、ホームページで公開	キャンパスガイドのデジタル版を作成し、9月ホームページに掲載予定

3. 大学等連携強化事業（進学・教育部会）

取 組	種 別	内 容	実施状況
① 大学間の単位互換	継続	多様かつ柔軟な学修を推進するため、県内大学の開設科目の相互履修と単位認定を実施	県内大学の開設科目の相互履修と単位認定を実施
② 大学等教員のFD・SD研修の実施	継続	大学等教職員研修の共同実施	令和5年9月～令和6年3月に3回実施予定
③ 国際交流会(学生)の開催	継続	県内大学等の留学生交流会を、参加大学等を拡大・拡充して開催	年度内2回開催に向け調整中
④ リスクマネジメント活動	継続	災害等に対するリスクマネジメント対応	研修会を10月に実施予定

⑤ 地域における高等教育の中長期グランドデザイン検討会	新規	大学等の地域における教育改革や教育改善につなげる中長期グランドデザインを検討	外部講師を招聘しての研修会を9月22日に開催予定
⑥ 数理・データサイエンス・AI教育事業	新規	県内高等教育機関の学生が、数理・データサイエンス・AIを習得できるような教育体制の構築・普及	随時情報交換 他県各ブロックにおけるシンポジウム等の案内 研修会を3月に実施予定

4. キャリア支援事業（就職・産業振興部会）

取 組	種 別	内 容	実施状況
① 「かがわーくフェア」の強化・充実	継続	各機関が連携して参加学生の拡大と新たな魅力づくりを行うなど、合同企業説明会の強化・充実	4月22日・23日に開催 (高松商工会議所主催) 対面参加者:148名 オンライン参加者:27名 年度内実施予定(香川労働局主催)
② 業種別オンライン県内企業見学ツアーの実施	継続	香川県内企業による動画等を用いた業種別の企業説明会の開催	8月23日、8月31日、9月6日に実施 県内大学等学生参加者:86名
③ うどん県の自治体で働こう大懇談会の開催	継続	香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会の開催	9月20日に香川大学で開催予定 参加自治体等数13件 学生申し込み者数22名
④ キャリア支援研修会の開催	継続	学生の早期の就活マインド醸成のため、企業から講師を招聘し、就職活動の始め方等や企業研究の方法に関する研修会を開催	10月下旬に高松大学で開催予定 県内企業の経営者を講師として招聘予定 応募周知9月中
⑤ 学生の就職先選定等の実態把握と解析	新規	就職先選定に係る実態把握のため、県内の高等教育機関の学生に対し、アンケート調査を実施し、解析(地域活性化部会と連携)	アンケート設問の設定等を検討予定

5. 地域企業魅力発信強化事業（就職・産業振興部会）

取 組 名	種 別	内 容	実施状況
① 学生による企業インタビューシップの実施	新規	高校生・大学生等が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の実施	高校生：県内5校において実施（中小企業家同友会担当） 大学生：高松大学における実証を検討
② 高校、大学等のイベント等を活用した地域の魅力発信	新規	高校、大学等のイベントに県産品を出展し、それらの生産・販売に係る企業・団体の情報・魅力発信	大学祭への出展を調整中

6. 地域活性化実践事業（地域活性化部会）

取 組 名	種 別	内 容	実施状況
① 学生による観光資源の情報発信等	継続	アイデアソンの提案を踏まえ、観光資源を題材に学生目線による体験取材や情報発信、ツアー企画等を実施	8月に高松市内で取材実施、9月に県SNSによる発信 その他地域においても実施予定
② アンケート調査の詳細分析等と対策検討	継続	4年度のアンケート調査の詳細分析や課題共有、分析結果等を踏まえたインタビュー調査等の実施、対策の検討	アンケートの深掘り分析とインタビュー調査を実施中
③ 関係案内所等の先進事例勉強会の開催等	継続	関係案内所等がある県内の先進事例から地域活性化のポイント等を学ぶ勉強会の開催、課題共有、他地域への活用検討	11月頃の開催に向け関係機関と調整中
④ 産学官関係者の連携強化に向けた交流促進	新規	地域で活躍する県内の企業・大学・高校・自治体の関係者や学生がつながり、連携を深める交流会等の開催	10月頃の開催に向け関係機関と調整中

大学・地域共創プラットフォーム香川
産学官共創チャレンジ支援補助金 交付決定一覧

1. 進学・教育部会関係

	事業名	事業実施主体
1	高大連携キャリアデザイン研修事業	高松大学
2	香川わくわく子ども大学	徳島文理大学
3	薬剤師・薬学部に係る職業理解・進学促進事業	徳島文理大学

2. 就職・産業振興部会関係

	事業名	事業実施主体
1	メタバースを利用したオンライン県内企業等見学ツアー	香川大学
2	地域中小企業の DX を推進する DX 人材育成教育プログラムの設計開発とその実践	香川大学
3	外国人材活用セミナー & 交流会	高松商工会議所
4	若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」	香川県中小企業団体中央会
5	業界研究会 in 大学祭（仮称）	一般社団法人香川県中小企業家同友会

3. 地域活性化部会関係

	事業名	事業実施主体
1	防犯アプリを活用した陸と空からの防犯パトロールの推進	香川大学
2	県内産業の魅力認識と若者の地元定着意識 PLUS 事業	香川短期大学

令和5年度 名義使用の許諾について

令和5年9月13日時点

番号 種別	行事名	主催者	共催者又は 後援者	実施目的	対象者	内容	開催時期等
1 後援	第1回かがわ 学生サークル アワード 2023	一般社団 法人香川 学生支援 会	【後援】大学・地域 共創プラットフォ ーム香川	地域との連 携・社会貢 献などを行 う学生サー クルを発掘 し、その活 動を支援す ることで人 材の定着や 育成を図る	香川県内の 学生サーク ル	ポテンシャル の高い学生 サークルに賞 を授与する アワードイベ ント	6/24
2 後援	高校生お弁当 の日 甲子園 2023	香川短期 大学	【後援】香川県、香 川県教育委員会、 宇多津町、香川県 高等学校教育研 究会家庭科部会、 (公社)香川県栄 養士会、大学・地 域共創プラットフ ォーム香川	県内の農林 水産物とそ の加工品の 理 解 を 深 め、食を通 じた健康づ くりに取り 組む	県内高校生 及び近隣の 県外高校生	「乾物を使っ た弁当」をテ ーマとした弁 当を提案す る	《募集期間》 7/10～ 9/19
3 後援	地質遺産の保 全と利活用に 関するシンポ ジウム	香川大学	【共催】(一社)四 国クリエイト協 会、香川大学博物 館、讃岐ジオパー ク構想推進準備 委員会 【後援】香川県、香 川県教育委員会、 大学・地域共創プ ラットフォーム香 川、土木学会四国 支部、地盤工学会 四国支部、日本応 用地質学会中国 四国支部	地質遺産の 保全と持続 可能な活用 方法につい て共有し、 地質遺産の 価値を利活 用するため の適切な方 法について 考え、地域 社会の発展 に活かすこ とができる 人材育成を する	香川県内の 一般市民、 行政機関、 教育関係者	①基調講演： 長谷川修一 (香川大学特 任教授) ②基調講演： 川村教一氏 (兵庫県立大 学大学院教 授) ③ パネルデ スカッション	8/28

4 後援	中高生のための 薬剤師セミナー	徳島文理 大学 香 川薬学部	【後援】香川県、 (一社)香川県薬 剤師会、香川県病 院薬剤師会、未来 のSO-YAKUプ ロジェクト(株)レ ディ薬局)、大学・ 地域共創プラット フォーム香川	中高校生に 薬剤師の魅 力を伝え、 香川薬学部 の進学者、 並びに香川 県で従事す る薬剤師の 増加を目指 す	主として香 川県内の中 学生・高校 生とその保 護者、及び 中学校・高 等学校教員	講演、薬剤師 体験会、進路 相談	11/12
5 共催	2023 年度香 川大学危機管 理シンポジウ ム	香川大学	【共催】(一社)国 立大学協会、(降 車)土木学会四国 支部香川地区、 (公社)土木学会 安全問題研究委 員会、大学・地域 共創プラットフォ ーム香川 【後援】四国地方 整備局、香川県、 高松市、四国経済 連合会、(公社)日 本技術士会四国 本部、香川県防災 士会、かがわ自主 ぼう連絡協議会、 四国官学連携防 災・減災協議会、 四国5大学連携 防災・減災教育研 究協議会、NHK 高松放送局、RN C西日本放送、T SCテレビせとう ち、KSB瀬戸内 海放送、四国新聞 社	「香川大学 四国危機管 理教育・研 究・地域連 携推進機 構」の活動 成果を地域 に還元し、 地域の安 全・安心に 寄与するこ とを目的と するシンポ ジウムの開 催	関係機関、 企業、一般 市民、香川 大 学 教 職 員・学生	シンポジウム	12/4

6 後援	「アオ活！in 香川短期大学 大 学 祭 2023」、「ア オ活！in 高松 大学・高松短 期大学大学祭 (仮称)	(一社)香 川県中小 企業家同 友会	【後援】大学・地域 共創プラットフォ ーム香川	学生・生徒 の「業界研 究・職業観 学習」とい ったキャリ ア教育の場 を提供する	大学祭参加 者	業界を解説 するブース を展開	10/21・22 11/11・12
---------	--	-----------------------------	-------------------------------	---	------------	-----------------------	----------------------